

キウリピクルの加工に関する研究

穴吹吉夫・川西良雄・笠井宣弘

内外各地より導入したピクル用キウリ 25 品種の加工適性を検討し,合理的加工法樹立の基礎資料を得るため品種,原料キウリの大小及び硫酸銅添加が発酵に及ぼす影響について検討し次の結果を得た。

1. ピクル用キウリの品種間には発酵に大きな差は認められない。
2. 原料キウリの重さ 31~60g 区は不揮発酸の生成が最も良好であり,次いで 61~90g 及び 30g 以下区であり 91g 以上区は酸生成がおそく生成量も少ない。
3. 原料キウリの重さ 60g 以下区は収率が 98~99%であった。61g 以上では順次低下し,91~22g 区は 88~89%となった。
4. 原料キウリの保色のため漬込液への硫酸銅の添加は 0.02%以上になると発酵に著しい悪影響を及ぼす。